

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「アジア・オセアニア好配当株ファンド（毎月決算型）」は、このたび、第245期の決算を行いました。

当ファンドは、アジア・オセアニア好配当リバランスマザーファンドを通じて、日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資し、安定的な収益の確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第245期末(2026年 4月10日)

基準価額	2,453円
純資産総額	95,046百万円
第240期～第245期	
騰落率	18.8%
分配金(税引前)合計	25円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、SBI岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法＞
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

アジア・オセアニア好配当株 ファンド(毎月決算型)

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2025年10月11日～2026年 4月10日

交付運用報告書

第240期(決算日2025年11月10日) 第243期(決算日2026年 2月10日)

第241期(決算日2025年12月10日) 第244期(決算日2026年 3月10日)

第242期(決算日2026年 1月13日) 第245期(決算日2026年 4月10日)

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

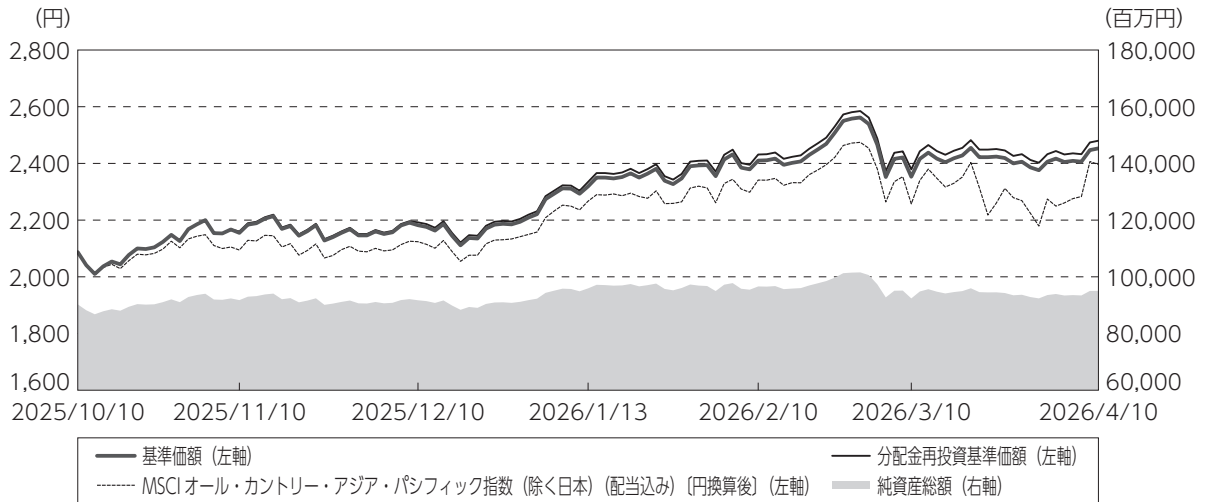
■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ
03-3516-1300 (受付時間：営業日の9:00～17:00)

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2025年10月11日～2026年4月10日)



第240期首：2,087円

第245期末：2,453円 (既払分配金(税引前)：25円)

騰 落 率：18.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCIオール・カントリー・アジア・パシフィック指数(除く日本)(配当込み)[円換算後]です。参考指数は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて当社が算出しております。なお、参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、後掲の＜当ファンドの参考指数について＞をご覧ください。(以下同じ。)
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首(2025年10月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

(2025年10月11日～2026年3月23日)

当ファンドの主要投資対象である「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・ 韓国の電気機器株などの株価上昇が基準価額のプラス要因となりました。
- ・ 多くのアジア・オセアニア地域の通貨が円に対して上昇したことが基準価額のプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- ・ 中国のインターネットサービス株などの株価下落が基準価額のマイナス要因となりました。

(2026年3月24日～2026年4月10日)

当ファンドの主要投資対象である「アジア・オセアニア好配当リバランスマザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・ 中国のアルミニウム製品株や韓国のタイヤ株などの株価上昇が基準価額のプラス要因となりました。
- ・ 多くのアジア・オセアニア地域の通貨が円に対して上昇したことが基準価額のプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- ・ 中国の家電メーカー株やマレーシアの金融サービス株などの株価下落が基準価額のマイナス要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

(2025年10月11日～2026年4月10日)

項 目	第240期～第245期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	14	0.612	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(6)	(0.247)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(8)	(0.338)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.073	(b) 売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均受益権口数
(株 式)	(2)	(0.072)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.041	(c) 有価証券取引税＝作成期間中の有価証券取引税÷作成期間中の平均受益権口数
(株 式)	(1)	(0.040)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	0	0.005	(d) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	17	0.731	
作成期間中の平均基準価額は、2,318円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

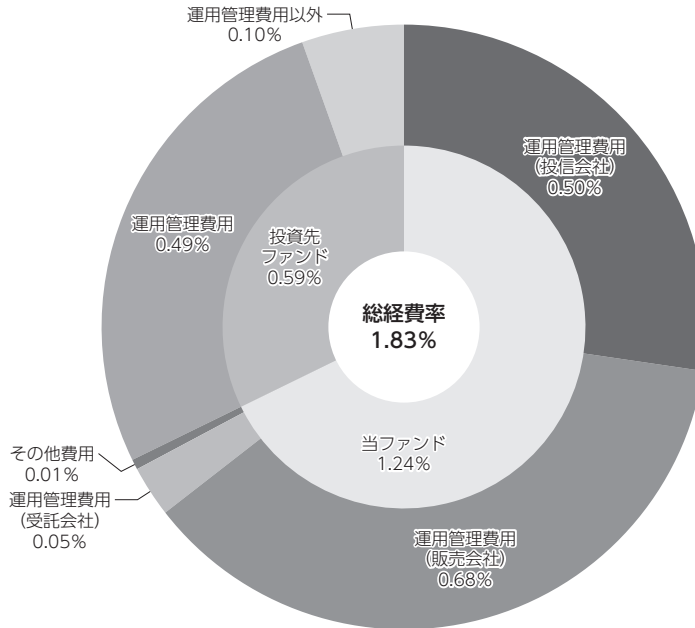
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.83%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.83
①当ファンドの費用の比率	1.24
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.49
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

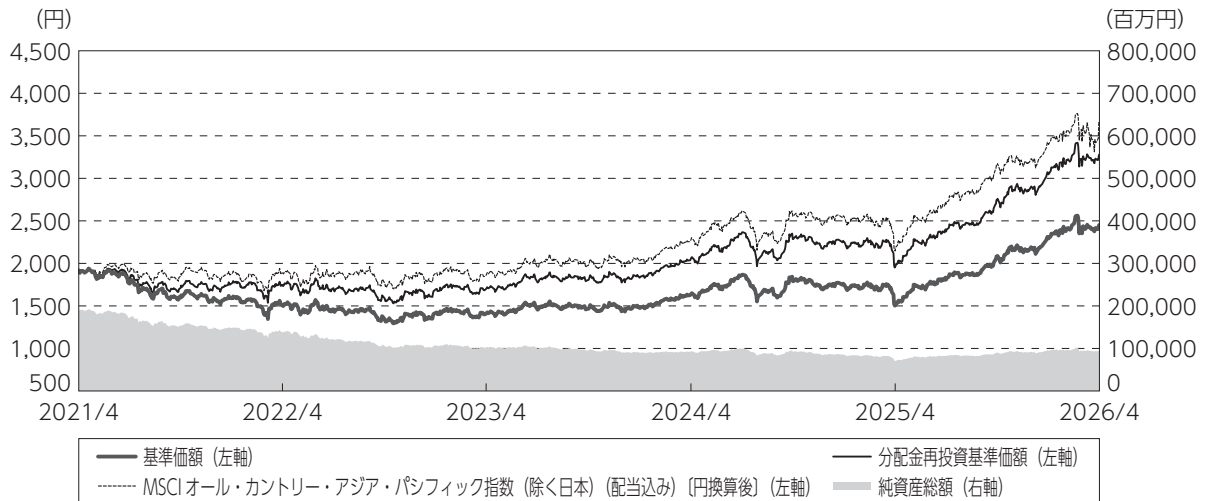
(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2021年4月12日～2026年4月10日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) MSCI オール・カントリー・アジア・パシフィック指数(除く日本)(配当込み)(円換算後)は当ファンドの参考指数です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2021年4月12日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年4月12日 期初	2022年4月11日 決算日	2023年4月10日 決算日	2024年4月10日 決算日	2025年4月10日 決算日	2026年4月10日 決算日
基準価額 (円)	1,919	1,510	1,408	1,636	1,503	2,453
期間分配金合計(税引前) (円)	—	240	60	60	60	55
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 8.9	△ 2.8	20.9	△ 4.8	67.7
MSCIオール・カントリー・アジア・パシフィック指数 (除く日本)(配当込み)(円換算後)騰落率 (%)	—	△ 1.2	△ 1.8	22.3	△ 5.7	69.7
純資産総額 (百万円)	192,008	138,535	102,337	92,523	70,451	95,046

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境

(2025年10月11日～2026年4月10日)

アジア・オセアニア地域の株式市場は上昇しました。作成期初は、対米関税交渉の進展が好感されたことに加え、好調なAI需要を背景に関連銘柄が上昇し、市場全体をけん引しました。その後は、米国を中心にAI分野における過剰投資リスクが意識されたほか、米国の利下げ期待の後退などを背景に、これまで上昇していた銘柄やセクターを中心に下落する展開となりました。2025年12月以降は、AI向け半導体需要への期待が再び高まったことに加え、金属価格の上昇を受けて、恩恵が見込まれる関連株やセクターが相場をけん引し、株式市場は上昇基調で推移しました。しかし、2026年3月には中東情勢の悪化を受けた原油価格の高騰により、高インフレや景気減速への懸念が強まり、株式市場は調整を余儀なくされました。作成期末にかけては、米国とイランの2週間の停戦合意が好感され、アジア・オセアニア地域の株式市場は反発しました。国別では、半導体関連銘柄が市場をけん引した韓国や台湾が上昇した一方、競争激化懸念からインターネット関連銘柄の下落が目立った中国や、大手指数算出会社による情報開示に関する懸念の表明が嫌気されたインドネシアなどは下落しました。

為替市場では、日本政府の積極的な財政姿勢を背景とした財政悪化懸念や、原油価格の上昇に伴う貿易収支の悪化懸念などから円売りが優勢となり、多くのアジア・オセアニア通貨が対円で上昇しました。特に、中央銀行が2026年に利上げを再開したオーストラリア・ドルや、政府の経済成長計画が好感されたことに加え、原油価格上昇の恩恵を受けるエネルギー輸出国であるマレーシア・リングgitは、上昇幅が大きくなりました。

国内短期金融市場では、日銀による早期利上げ観測が強まったことに加え、拡張的な財政政策を志向する高市氏の首相就任を受けて、1年国債利回りが大きく上昇して始まりました。その後も、2025年12月に日銀が利上げを実施したことに加え、2026年1月には高市首相が衆議院解散に踏み切り、財政悪化懸念が強まったことを受け、利回りは上昇基調を強めました。また、3月以降、米国とイラン間の軍事衝突が長期化するとの見方を背景に原油価格が急騰し、国内のインフレ懸念が強まったことも利回りの上昇要因となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年10月11日～2026年4月10日)

(2025年10月11日～2026年3月23日)

「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）」、「日本マネー・マザーファンド」を主要投資対象とし、「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）」を高位に組み入れて運用を行いました。2026年3月以降は、約款変更に伴う投資対象の入替えに備え、「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）」などの売却を実施しました。

○イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）

イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資を行いました。

イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドの運用につきましては、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資を行い、安定的な配当収入の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目指しました。当作成期の投資行動では、バリュエーションが魅力的な水準にあり値上がりが期待できる銘柄の中から、配当利回りが相対的に高い銘柄や今後の増配が期待できる銘柄などに注目し、市場を上回る平均配当利回りの水準を維持しました。組入比率については、国・地域別では、韓国などを上げる一方、中国やインドなどを下げました。セクター別では、情報技術を上げる一方、金融やコミュニケーション・サービスなどを下げました。

○日本マネー・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当作成期間中は、国債および政府保証債を組み入れました。

(2026年3月24日～2026年4月10日)

主要投資対象である「アジア・オセアニア好配当リバランスマザーファンド」を高位に組み入れて運用を行いました。

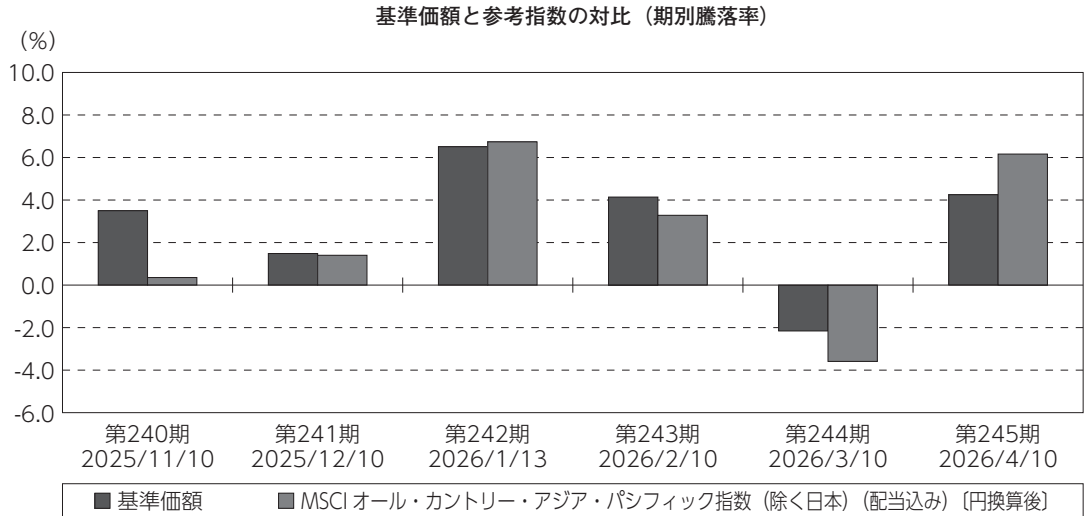
○アジア・オセアニア好配当リバランスマザーファンド

日本を除くアジア・オセアニア地域を対象とする主要な株価指数の採用銘柄から、財務リスクや流動性等を勘案した上で、予想配当利回り上位銘柄を対象に、等金額ポートフォリオを構築しました。なお、組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジは行いませんでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年10月11日～2026年4月10日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。下記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、MSCI オール・カントリー・アジア・パシフィック指数（除く日本）（配当込み）〔円換算後〕です。

分配金

(2025年10月11日～2026年4月10日)

当作成期の分配金につきましては、分配方針に則り、分配可能額、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第240期 2025年10月11日～ 2025年11月10日	第241期 2025年11月11日～ 2025年12月10日	第242期 2025年12月11日～ 2026年1月13日	第243期 2026年1月14日～ 2026年2月10日	第244期 2026年2月11日～ 2026年3月10日	第245期 2026年3月11日～ 2026年4月10日
当期分配金	5	5	5	5	5	—
(対基準価額比率)	0.231%	0.229%	0.215%	0.207%	0.212%	—%
当期の収益	2	5	4	5	0	—
当期の収益以外	2	—	0	—	4	—
翌期繰越分配対象額	904	931	1,068	1,159	1,154	1,202

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

当面のアジア・オセアニア株式市場は不安定な相場が続くと予想します。短期的な動きは、中東情勢、とりわけホルムズ海峡を巡る状況に左右されると見ております。休戦が成立したり、イラン側の反撃が弱まったりして中東情勢が最悪期を越えてくれば、株式市場は一旦反発すると考えます。ただ、重要なのはホルムズ海峡を経由した原油・天然ガス供給がどの程度回復するかであり、設備被害などにより供給停滞が長期化した場合には、原油の対外依存度が高く備蓄量が相対的に少ない国を中心に、株価の値が抑えられる展開が想定されます。

(運用方針)

<アジア・オセアニア好配当株ファンド(毎月決算型)>

「アジア・オセアニア好配当リバランスマザーファンド」への投資を通じて、日本を除くアジア・オセアニア地域の好配当株式に投資を行い、安定的な配当収入の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目指す方針です。

○アジア・オセアニア好配当リバランスマザーファンド

日本を除くアジア・オセアニア地域を対象とする主要な株価指数の採用銘柄から、財務リスクや流動性を勘案した上で、毎月、予想配当利回り上位銘柄を対象に等金額ポートフォリオを構築します。資金流入に応じて等金額投資を目標に各銘柄の売買を行い、株式組入比率を高位に維持する方針です。また、組入外貨建資産については、運用の基本方針に則り、為替ヘッジは行わない方針です。

お知らせ

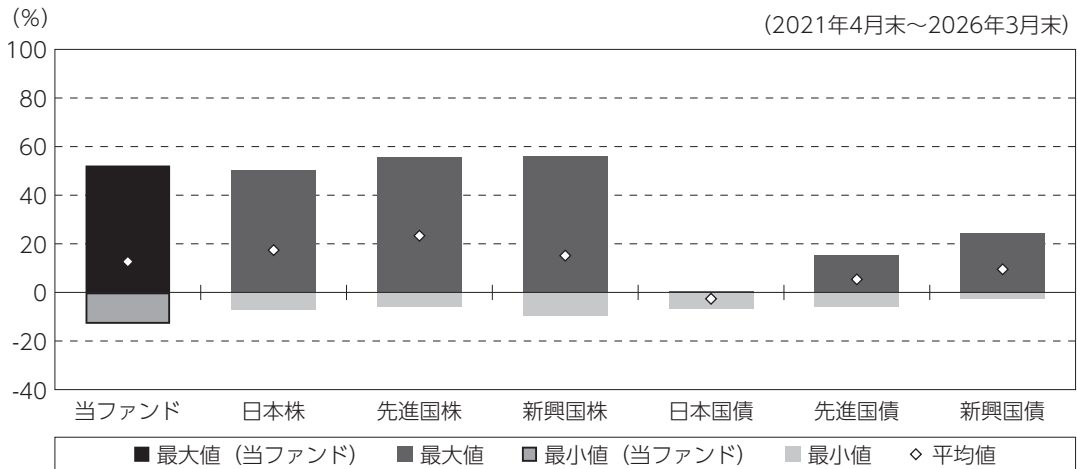
- ・当ファンドは2005年10月27日の設定以来、安定的な収益の確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行っておりますが、運用改善を目的に当ファンドの運用体制および信託期間について、以下の通り投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日：2026年3月24日)
 - ①運用の基本方針の見直し
 - ②上記①により投資対象を変更し、それに伴うファンドの名称の変更
 ファンドの主要投資対象を「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）」および「日本マネー・マザーファンド」から「アジア・オセアニア好配当リバランスマザーファンド」に変更しました。
 ファンドの名称を「アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）」から「アジア・オセアニア好配当株ファンド（毎月決算型）」に変更しました。
 - ③信託報酬率の変更
 ファンドの実質的な信託報酬を年率1.76%（税抜1.60%）程度から年率1.595%（税抜1.45%）に引き下げました。
 ファンドの主要投資対象「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）」の運用先に係る信託報酬がなくなりファンドの運用は委託者のみに変更となりました。ファンドの信託報酬は年率1.155%（税抜1.05%）から年率1.595%（税抜1.45%）に変更しました。
 - ④取得申込・換金申込不可日の変更
 「翌営業日が香港の取引所または銀行の休業日もしくはオーストラリアの取引所の休業日」を不可日から外して、「香港の取引所または銀行の休業日もしくはオーストラリアの取引所の休業日」のみに変更しました。
 - ⑤信託期間の変更
 ファンドの信託期間の終了日を「無期限」から「2036年10月10日」に変更しました。
 - ⑥適用する信託法の変更
 「旧法（信託法（大正11年法律第62号））」から「新法（信託法（平成18年法律第108号））」に変更しました。
- ・新たに「MSCI オール・カンントリー・アジア・パシフィック指数（除く日本）（配当込み）[円換算後]」を参考指数としました。(実施日：2026年3月24日)
- ・一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年4月1日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日：2026年4月1日)

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	2005年10月27日から2036年10月10日までです。	
運 用 方 針	アジア・オセアニア好配当リバランスマザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、日本を除くアジア・オセアニア地域の株式（これに準ずるものを含みます。）に投資し、安定的な収益の確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当 フ ァ ン ド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	アジア・オセアニア好配当リバランスマザーファンド	日本を除くアジア・オセアニア地域の株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。
運 用 方 法	当 フ ァ ン ド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	アジア・オセアニア好配当リバランスマザーファンド	運用にあたっては、日本を除くアジア・オセアニア地域を対象とする主要な株価指数への採用状況や、流動性リスク、信用リスク等を勘案のうえ、予想配当利回りが相対的に高位の銘柄に投資します。 ポートフォリオの構築にあたっては、各銘柄を概ね等比率にて投資を行います。ただし、投資信託財産の規模、保有銘柄の流動性、組入銘柄の株価変動等の要因により等比率とならない場合があります。 組入銘柄の見直しと組入比率の調整（リバランス）は、原則として1ヵ月毎に行います。
分 配 方 針	毎月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 収益分配は、主として配当等収益等から行います。 3月と9月の決算時の分配方針は、決算日に売買益（評価益を含みます。）等が存在するときは、配当等収益に売買益（評価益を含みます。）等を加えた額を分配対象収益として分配を行います。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	52.2	50.5	55.7	56.3	0.6	15.3	24.5
最小値	△ 12.9	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	12.7	17.4	23.3	15.1	△ 2.6	5.4	9.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年4月から2026年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

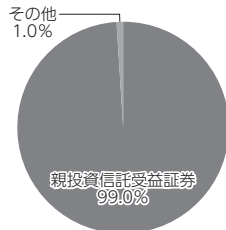
組入資産の内容

(2026年4月10日現在)

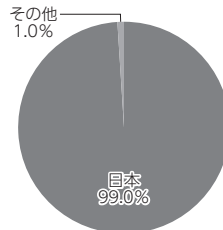
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第245期末
	%
アジア・オセアニア好配当リバランスマザーファンド	99.0
組入銘柄数	1銘柄

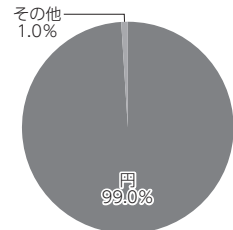
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

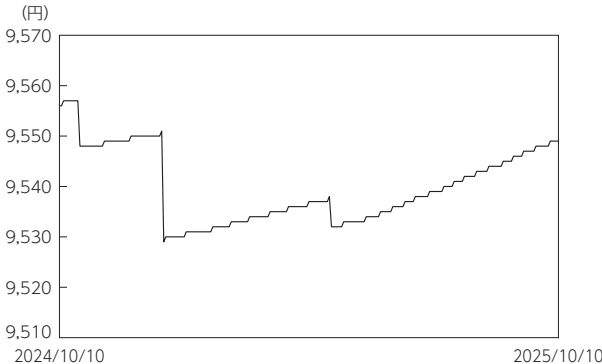
項 目	第240期末	第241期末	第242期末	第243期末	第244期末	第245期末
	2025年11月10日	2025年12月10日	2026年1月13日	2026年2月10日	2026年3月10日	2026年4月10日
純 資 産 総 額	91,776,138,896円	91,726,535,946円	95,923,161,325円	96,608,191,763円	92,384,651,585円	95,046,541,046円
受 益 権 総 口 数	425,967,259,872口	420,319,880,124口	413,566,106,384口	400,863,143,926口	392,647,192,782口	387,499,046,712口
1万口当たり基準価額	2,155円	2,182円	2,319円	2,410円	2,353円	2,453円

(注) 当作成期間（第240期～第245期）中における追加設定元本額は1,778,326,581円、同解約元本額は46,915,607,376円です。

組入上位ファンドの概要

アジア・オセアニア好配当リバランスマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年10月11日～2025年10月10日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用	37	0.386
(保 管 費 用)	(31)	(0.323)
(そ の 他)	(6)	(0.063)
合 計	37	0.386
期中の平均基準価額は、9,538円です。		

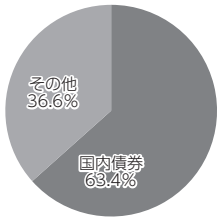
(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

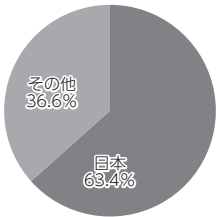
(2025年10月10日現在)

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比率
1	第341回利付国債(10年)	国債証券	円	日本	63.4%
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数			1 銘柄		

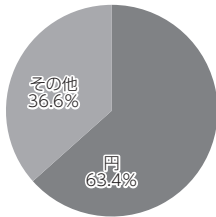
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
(注) 国(地域)および国別配分につきましては発行国を表示しております。
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

＜当ファンドの参考指数について＞

MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。

○MSCI－KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI－KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA－BPI国債

NOMURA－BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA－BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。